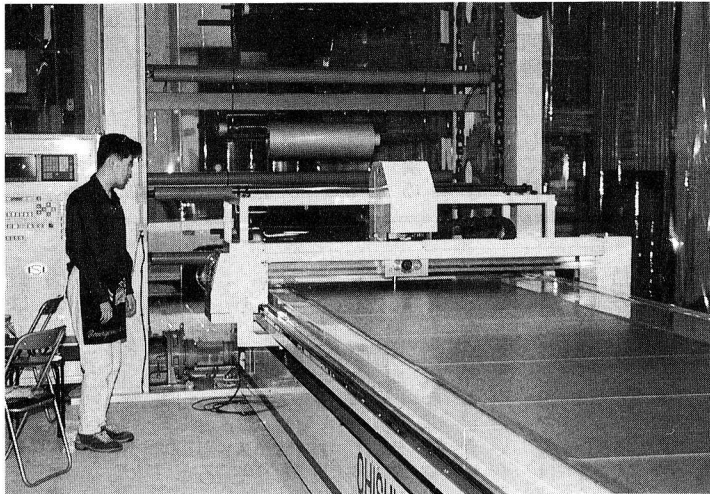


波 紋

1991 11 第77号

「CADコンピュータ導入」

CADコンピュータ・NC cutterとはどういう機械か？簡単にいうと、今まで手切りしていた別寸デスクマットを機械が代行します。CADに別寸デスクマットの図面を入力してフロッピーに登録します。そのフロッピーを別のコンピュータで読み取ります。そのコンピュータとNC cutterが連結しており、入力した通りにcutter



「百聞は一見に如かず」といいます。是非、私の仕事ぶり、機械を一度みにきて下さい。

が作動してマットを切ります。ややこしい過程をたどりませんが、慣れると簡単です。図面さえ入力すれば、複雑な形でも、抜型なしできれいに切れます。

昔から、コンピュータに関する仕事がたくさんあって、その願望が今、現実になった事、そして実現させてくれた我が森松に感謝します。失敗を教訓として頑張り、いつか、CAD・NC cutterを最良の友にする為、自分のものにする為、努力していきます。

製造部 谷澤 享

●交差点

「祭りと会社」

日本人は祭りが好き。最近は何地とか、新しく出来た住宅地では、そうでもない場合もあるが、元来好きな国民です。

まつりは地域の人が集まって、一緒になって、飲み・食い・歌い・おどる。老いも若きも皆んなで一つの事をやる。

高山のまつり、有松の紋まつり、町内の人々が半年間準備をし、となりの町内と競争して負けないように、練習もし、一致団結して年2回のまつりに参加する。

高山も有松も両方共長い伝統を持つまつりです。我社の新社屋パーティー・イベントに催した、からくり人形の有松の山車はすばらしかった。二百年―三百年間も継続して、先人の伝統を守って子孫に伝えてゆく事は、大変な労力とお金とハートが必要だったと思います。一部の趣味の人だけでは長く続かない事です。こんな風に考えた時、まつりと会社が似ている気がする。一つの目的があつて事業―商売を運営する、年令も違い、考え方はもちろん違った、色々な人が集まり、団体となり、表舞台に立つ人、人から見えない裏方でガンバッテいる人、又その人達を側面から応援し、お世話する人、全員が同じ目的意識を持つて会社も継続し、経営が成り立ち倒産会社にならない、強い会社になる。

まつりと会社は共通点が多いですね

森 信之

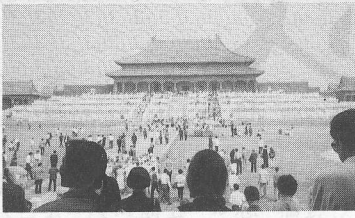
トシ君の一方通行

中国へ行ってきました。北京、大原、そして五台山です。

正直な感想は大変な国であるという事です。何年たつたら世界の本当の仲間入りが出来るんかいなという感じですね。しかし、歴史的な所はスゴイですわ。

もし私が20代でこの歴史的な所を見たとしても「フンそうかいな」で終わったでしょう。この年齢で理屈抜きに「スゲーな」と感じたいと思います。又色々な意味で次々とハブニングがありました。

三つか四つあつたけど、帰国してから4・5日たつてからもあつたけど、成田に到着してヤレヤレで東京行きのJRに乗車したら隣の席に何と「58年ぶりに日本に帰国した」というご婦人と娘さんが座りました。聞いてみますと、5才の時にブラジルにご両親と渡り、大変な苦勞をされたとか。今回何とかして日本の親戚を捜そうという訳です。当時のご両親のパスポートを見せてもらいました。大日本帝国発行渡航証明書とか、書いてあつた。ポロポロのパスポートです。



青い色だったんですな。我々の先輩はブラジルへ渡つた人だけじゃなく、戦争であるとか、日本がこんなに豊でなかった時に大変な苦勞をされたんだなあと思つた次第です。

木村英利

森松クインテッド

男の靴

靴は、いつもピカピカが良い。

男の足元の顔として考えても良いと思う。なかには、買ってから一度も磨いたことのない靴を、履いている営業マンがいる、私としては、許せん。

(なかにはいるだろう靴でもいろいろあつてバックスキンの靴・布の靴をどうやってピカピカにするんですか?)

そんなことを、言う人ほど自分の靴を見てみると言つてやりたいまま拭く位は、しているが、磨いてはいないだろう。

なにも高級な、靴を履かなくても良いのです。安くてもピカピカに磨いたほうがカッコ良いのです。

(まあここまで書けばハゲた靴を履く

営業マンは、いなくなるでしょう)

私の尊敬している人は、いつもピカピカです。まずピカピカなのが、あたりまえ常識なんでしょう。

私も営業マンである限りいつもピカピカの靴を履かなければと思う。

靴も磨き、自分の中味も磨こうと思います。

光田昭男

喜怒哀楽

長男がネフロローゼで入院してもう2年が過ぎました。

薬の量が少なくなってくると再発の繰り返し、今回は強い薬を使っているので大丈夫だろうと思っていると、また再発とのことですが、さすがに、今回こそはと期待していた女房も、がっかりしていました。

早く良くなつて、地元の小学校に通える様になつてほしい、家族で旅行に行ける様になつてほしいと思つても、なかなか期待どおりにはいきませんが、一日も早く治してほしいと願っています。

一日置きに、片道一時間車を運転して面会に行く女房も大変だと思いますが、頑張つて下さい。

とにかく、一日でも早く家族そろつて暮せる様になりたいです。

岩間正美



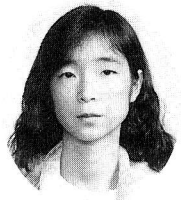
新しい仲間が

ふえました

10月1日より入社致しました坪井秀夫です。昭和24年11月28日生、うし年、射手座、血液A型、家族妻1人47才、娘1人17才、趣味・ソフトボール、私は前の会社では12年間縫製の仕事をしておりました。森松の事は仕事の上でよく知っておりイメージとしては今風に言えば3Kに近い会社とと思っていましたが、中に入ればやはりその通りでした。(スイマセン)

でも、森松マン精神の中に「人間味のある人間になる。」とありますが確かに人間味のある人が多くお互いに気持よく話し合える雰囲気があり、この会社なら壁にぶつかりながらもやっつけていけると言う気がしました。早く皆さんの中に溶け込み責任ある仕事が出来ると精一ばい頑張りますのでよろしくお願ひします。

坪井 秀夫



信玄の経営戦略

今、こんな本読んでます

岩田 ひとみ

何を読むかぜひぶん悩んだ結果の本がこれです。選振ポイント、私は歴史が好きです。だから歴史のそれも特に好きな戦国時代に関するこの本に決めました。なぜ歴史が好きかと言いますと、戦さの勝負が、今、歴史として残っている物と違う結果だったら、今の日本現在と違うかもしれません。自分だっけもしかしたら男として生まれてきてるかもしれないです、生まれてないかもしれないという多くの疑惑がでてくる所にロマンを感じます。前置きは、これくらいで本題に入ります。信玄誕生伝説というものがあって、信玄が生まれる少し前に枕元で「これから産まれるあなたの嫡男は、曾我五郎の生まれ変わりです。」というお告げがあった。その曾我五郎というのは、兄十郎と共に幼少の頃父を殺された仇討ちをしたことから、親孝行の手柄とされた。しかしこの神がかり伝説は、誰がつくったのか不明なのですが、もし親バカな父信虎だとすると、たいへんすごい皮肉になるわけです。その理由は、父信虎は、子信玄と部下達の無血のクーデターによって、旅の帰還の道を閉じられて生涯今川氏の元で生活する事になるのです。親孝行伝説は、実は、自分の子が親不孝である大きな、大きな宣伝をしてしまった事になってしまった。親バカと言うのはいつの時代でも存在する事で、何んだかおかしく思いました。では、なぜ父は息子に追放されたのか？家臣や領民に対して酷薄で苛烈な領主で、例えば、胎児の育ち具合を知りたいため妊婦の腹を割いた事があるくらいの人です。追放は、おこるべきしておこった事

件であると思わずには、いられない。しかし信玄は、父あつての自分、父の築き上げてきた基礎なしに信玄の、偉業はあり得なかった。それを信玄自信一番良く知っていたと思う。しかしそこまでしなければならなかった。そうするしか武田家をまとめる事は不可能だった。しかし信玄の行動によって危機を脱する事ができたのであるから、信玄の政治家ぶりに、少しは、感歎せざるを得ないでしょう。

そして、常識の裏をつく、心理戦略で大勝利をしていく、またこの心理戦略というのは、死傷者を極力出さない今までの戦さ常識を無視した省エネ戦法でもあった。

また信玄は、人材配置にも目をみはる力を発揮します。例えば、戦さで敵兵が自分の軍を痛い目にあわせ得る力がある男であるほど、戦さに勝った後、自分の部下に加えたがったり、信玄の部下内でも合戦が始まるといつも気絶してしまうという男を、隠し目付に任じたりした。この隠し目付というのが、良いアイデアで根から臆病で馬鹿正直な性格を利用して家中の状況を報告させるのです。これこそ、適材適所であると私は思いました。

信玄の合理的、経営戦略、乃至、戦略経営見事であると思えました。

ここまで戦さに、多様な気配りで望んでいた武士である事を知った。また肉親の愛情という面で恵まれては、いなかったが信玄自身は、とても情深い人だと思ふ。なぜかと言うと、父一人の犠牲で多くの部下をすくったのだから……そして人一倍妹思いだった。ともあれ信玄とは天才的な武士だったと考えらるには、いられません。

五十一歳と五ヶ月で信玄のドラマは、肺結核という形の死で幕を閉じた。

戦さの為に生まれてきた男、信玄には、戦さで生涯を終えてほしかったという気がします。

今月の社内行事

11月4日

文化の日振替

アメリカ研修チーム帰国

5日

U・S・A 報告会

8日

加藤先生来社

9日

第二土曜日休み

12日

音楽とダンスの夕べ
担当・西田、水野

13日

タツタ会

14日

樹脂・ビニールの日

16日

第三土曜日休み

19日

Y・M・S
担当・吉岡係長
伊東係長

21日

生産会議
十八時より 4F

23日

勤労感謝の日
アメリカ研修出発
牧野部長・岩間係長
大橋係長

24日

家族忘年会
ヒルトンホテルにて

25日

経営会議
午前七時半より
F・M・S

26日

営業会議
担当・山口部長
十八時半より

暮らしのエッセイ

秋になりました。秋と言えば「食欲の秋」

です。夏バテを解消し、力の尽くものをたくさん食べ、逞しい体をつくり、健康状態を最強にする秋です。みなさんは何でももりもり食べているでしょうか。中には仕事におわれてきちんと食べていない人や、食欲がなくて栄養のバランスが傾ってしまっている人もいるのではないのでしょうか。

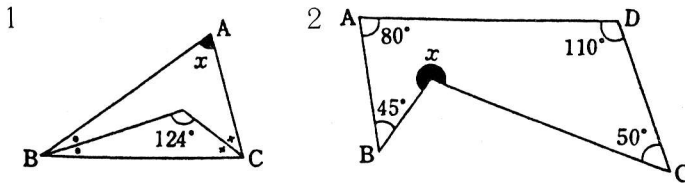
そういう人にお薦めなのがサンドイッチです。それに、飲み物としてはヨーグルトかミルクがよいそうです。これをミックスサンドの場合にしますと、カルシウムと鉄分を除外と意外にバランスがよく、ビタミンA・B¹・B²・C、脂肪分が2.2・3g、たんぱく質が2.4・2g、カロリーにして660Kcalとなり、簡単に言えばビタミンが豊富で、たんぱく質が一日の必要量の1/2以上とれてるわけで、体力の回復と増強によいとのこと。これは人から聞いた話ですので本当かどうかは確信できませんが、私が「元気」ですので効果はあるのではないのでしょうか。

営業二部 西川明宏

クイズコーナー

〈図形〉左の2つの図のxの角度は何度になるでしょうか？

※式も書けたら書いてね。



編集後記

11月になりました。今月で19才になります。人生の節目の一つです。特別な夢はありませんが、今の、この気持ちを、大事にしていきたいと思っています。

芸術の秋のせいでしょうか、あきっぽい私も、絵を書いたり文章を書いたり、秋っぽく過ごしています。皆様の秋は、いかがでしょうか？

さて、先月森松産業にNCコンピュータと、NCカッターが導入されています。私達も、NCコンピュータで、図形を作る事に頭をひねらせています。それにちなんで、今月のクイズは、図形の中でもややこしい、角度にしてみようか。分度器などを使わず、是非、挑戦してみてください。

小原にしき

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
水野陽子

平成3年11月1日
第77号